

びえい農業SDGsへの挑戦

健全な小麦産地であり続けるための戦略

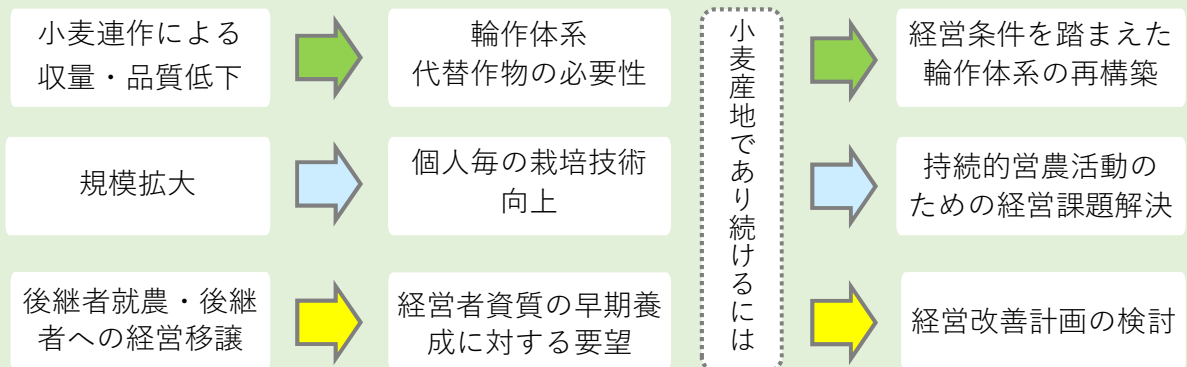
活動対象：美瑛町 赤羽地域10戸

美瑛町では、規模拡大による労働力不足や小麦の連作が問題となっており、持続的な営農活動のための対策が必要となっている。地区農業者10戸を対象に、輪作体系の検討および新規導入作物の支援、個別経営課題の解決、後継者・若手経営者への経営解析結果に基づいた経営改善計画の検討に取り組んだ。

大豆間作小麦や大豆、かぼちゃの新規導入が進み、小麦連作率が低下した。個別経営課題解決では、6戸が取り組み、大豆狭畦栽培、大豆摘心栽培、秋まき小麦の種量削減でそれぞれ増収した。ばれいしょ減肥では所得の向上につながった。経営解析は6戸が実施し経営改善計画の検討につながった。

1 課題の背景

◆赤羽地域：平均耕地面積42.3ha。水稻・畑作・野菜の複合経営



2 活動の経過

経営条件を踏まえた輪作体系の再構築



大豆の畝間除草剤散布



直播かぼちゃ発芽確認

- ◆大豆間作小麦の試作(輪作体系の検討)
- ◆小麦の栽培指導(連作障害の指導)
- ◆新規に大豆、かぼちゃを導入した農家の技術支援

輪作体系の検討および
新規導入作物の支援

持続的営農活動のための経営課題解決



ばれいしょ減肥試験調査



大豆摘心栽培の検証

- ◆個別経営課題解決のための意見交換
- ◆省力化栽培の取り組み(大豆狭畦栽培)
- ◆コスト削減・減肥(ばれいしょリン酸減肥)
- ◆栽培法見直し(春まき小麦緩効性肥料、秋まき小麦は種量削減、大豆の摘心栽培)

経営課題解決の提案および検証

経営分析結果に基づいた経営改善計画の検討



クミカン取引の整理



特徴的な費用の洗い出し

- ◆クミカン取引の整理や生産実績の確認
- ◆作物別の収益性や特徴的な費用の洗い出し
- ◆解析結果から削減できる費用を検討

後継者・若手経営者の
経営管理能力習得を支援

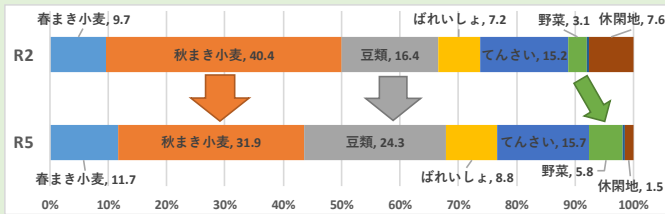
3 活動の成果

経営条件を踏まえた輪作体系の再構築

目標 3戸/実績 3戸(100%達成)

重点地区の小麦作付け面積、基準年に比べた面積増減、連作率

農業者		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	地区計
R 5 小麦面積(a)		2,090	750	902	400	840	840	470	1,380	1,980	3,580	13,232
基準年(R 2)からの増減	小麦面積(a)	-58	+20	+1	+90	-80	-76	+90	+210	+190	-538	-150
	連作率(%)	+6.5	+7.7	+22.8	+26.8	-28.3	-8.9	+55.3	+31.8	+9.3	-17.9	+2.0



重点地区の作付状況の推移(小麦連作率が低下した3戸)

- ◆小麦連作率5%以上低下した農家は3戸
- ◆大豆、かぼちゃを1戸が新規導入
- ◆大豆間作小麦に1戸が取り組んだ
- ◆小麦の作付けが減り、輪作作物として、豆類、野菜の作付けが進んだ

新規作物の導入や大豆間作小麦に取り組んだ農業者で、小麦連作の緩和につながった

持続的営農活動のための経営課題解決

目標 6戸/実績 6戸(100%達成)

取り組み	ねらい	具体的課題
個別課題の取り組み	省力化栽培	大豆狭畦栽培
	コスト削減・減肥	ばれいしょリン酸減肥 黒大豆無窒素栽培
	栽培法の見直し	春まき小麦の緩効性肥料 秋まき小麦のは種量削減 大豆の摘心栽培



雑草のない大豆狭畦栽培



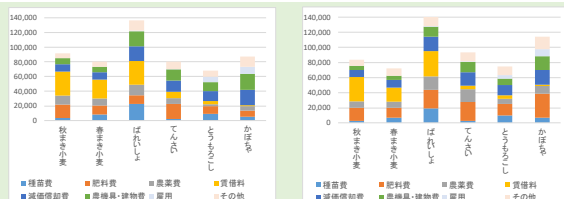
秋まき小麦のは種量削減

- ◆6戸が課題解決に取り組んだ
- ◆大豆狭畦栽培で、増収した(慣行比110%)。「カルチをかけなくても雑草は少ない」
- ◆ばれいしょリン酸減肥で、肥料費の低減につながった(肥料費10%削減)
- ◆秋まき小麦のは種量を削減し、増収した(慣行比105%)
- ◆大豆摘心栽培は、慣行栽培より増収した(慣行比110%)。「倒れやすい黒大豆には、いい方法」

昨年度のデータに基づいて提案したことが農家の取り組みにつながった

経営分析結果に基づいた経営改善計画の検討

目標 2戸/実績 2戸(100%達成)



重点地区の担い手経営解析(年度比較)

【肥料費増加の背景】

- 農業経済を取り巻く環境の変化
 - 肥料価格高騰
- コスト削減の意識向上

- ◆6戸が解析を実施
- ◆コスト削減に向けた課題が明確になったことにより、計画の検討につながった
- ◆経営解析について家族での理解がすすみ、農場の経営改善につながる効果も期待

経営解析により、経費の無駄をなくし、所得の向上につなげる

4 今後の課題

経営条件を踏まえた輪作体系の再構築

- ・大豆間作小麦の栽培体系を構築するため、作付事例を増やし、美瑛町での栽培体系を確立する。

持続的営農活動のための経営課題解決

- ・個別に取り組んだ課題の中で、地域に有効と思われる技術について、重点地区の中で技術を確立し、美瑛町全体へ技術を拡大していく。

経営解析ツールを用いた経営分析の実施

- ・経営解析結果をもとに、若手農業者が考えるコスト削減案についての有用性について検討し、さらなる経営管理能力の向上につなげる。



重点地区懇談会での説明